



年中だより



中道公園のイチョウがきれいに色付き、落ちてきました。朝晩は冷えてきましたが、日中はまだまだ暖かい日が多く、園庭で鬼ごっこをしたり固定遊具に繰り返し取り組んだりして元気いっぱい遊んでいます。これから寒い日が多くなってくると思います。子どもたちと一緒に空気の冷たさや木々の変化など、季節の移り変わりを楽しみながら寒さに負けずに遊んでいきたいと思っています。

【黒い煙見たことあるよ！】

「ここは入口にしない?」「わたしがこの子のご飯を作るのね」などと、自分の思いを教師と一緒に遊んでいる友達に話しながらお寿司屋さん、魔女、警察官など好きなものになりきって遊ぶことを楽しんでいます。その中で、友達の言葉が耳に入ったり、動きが気になったりする姿が見られるようになってきました。そのため、友達と自分の思いの違いに気付くものの、どうしたらいいのかわからず、その場に固まっていたり、「だめ!」と言ったり、、、などのトラブルが起こります。

ある日のことです。AちゃんとBちゃんが、おうちごっこの場に置いてあるテレビの番組を絵でかいて作っていました。Aちゃんがオレンジ色で煙をかいているのに気が付いたBちゃんは「ずるっこだよ!」と言いました。Aちゃんは何も言わずにうつむきました。教師は「どうしてずるっこなの?」とBちゃんの思いを聞くと、「煙は汚いから黒と灰色なんだよ」と言いました。また、「Aちゃんはどのようにしてオレンジでかいたの?」とAちゃんの思いを聞くと、「だって、きれいな煙だから」と言いました。それぞれの思いを聞いて、教師は二人の前で「Aちゃんはきれいな煙にしたかったんだね」「Bちゃんは黒と灰色が良かったんだね」と友達の思いに気付けるように言葉を掛けました。教師を通してBちゃんの思いを知ったAちゃんは「ぼく、黒い煙見たことあるよ!」と表情が柔らかくなりました。それを聞いたBちゃんは、うれしそうな顔をしました。そこで教師が「Aちゃんがお話ししてくれたから、Bちゃんも分かってくれたね」と言葉を掛けて、一緒に喜びました。

このように、自分の思いが友達に伝わるうれしさや安心感を味わえるように、時には教師が代わりに話したり、寄り添って言葉を補ったりしています。また、「言って良かったね」と安心感を受け止めて、教師もそのうれしさに共感しています。

これからも、友達に自分の思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを経験できるように支えていきたいと思っています。

ぼくはブルドーザーだぞ!!



修理します、お待ちください!



いろいろなものになりきって遊ぶ楽しさを感じています。

【一人でボタンできちゃったよ】

11月から制服登園が始まりました。初めは、ボタンのかけ外しが難しくて「やって」と教師に言いに来たり、スカートを履くときにどこに足を通せばよいのか分からなくて困ったりする姿が見られました。その都度、教師が手伝ったり、「バツテンが後ろだよ」「こっちから引っ張ってトンネル通すといいよ」とスカートの履き方やボタンのかけ外しの仕方のコツを知らせたりしています。そうするうちに、「一人でボタンできちゃったよ」「スカート立ったまま履けたよ」「先生がいないうちに着替えちゃった！」などと、自分でできるようになったうれしさを教師に伝えにくるようになりました。まだ、ハンカチ、ティッシュを移し替え忘れったり、スモックや制服の袖が裏返ったままになっていたりすることがあります。「ハンカチ、ティッシュがスモックにお引越してできていると、困らないね」「袖がきちんと戻してあると、次に着るときすぐに着られるね」など、なぜそうするといいいのかということを知らせたり、自分でやってみようとする姿を認めたりしています。ご家庭でも、お子さんが一人で着替えようとする姿を見守ったり、コツを知らせたりしながら、自分でできるようになったうれしさに共感してください。



自分で“できた”のうれしさを味わっています。

はっぱのおふとん、ふっかふか〜



はっぱ、そーれ!!!



秋の自然に触れて遊ぶ楽しさを味わっています。